

平成20年度豊かなむらづくり全国表彰事業

農林水産大臣賞

日本政策金融公庫京都支店長賞

いわきえいのうくみあい

岩木営農組合（京都府京丹後市）



みず菜のハウス栽培



そば打ちの実演販売

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

岩木地区は、昭和 30 年代から織物業が盛んとなって、人を織物業に集中させるため農業の合理化を図る必要に迫られ、グループ的な共同農業機械組織がいくつか結成された。その後、織物業の衰退があったが、みず菜等のハウス栽培が導入され、一層の作業の効率化と機械投資抑制及び地域農業の振興と農家経済の改善を図るため岩木営農組合を平成 11 年に設立した。

（２）むらづくりの内容

- ・ 水稻及びそば、豆類の作業受託に取り組み、機械の投資抑制、作業の効率化、合理的な土地利用を推進している。
- ・ 作業受託の推進により生じた余剰労働力を水菜などのハウス栽培に振り向け、農家所得の確保を図る。また、ハウス栽培の団地化により、品質向上を図っている。
- ・ 新規就農者を受入れ、施設園芸の栽培技術、水稻生産作業の指導を行い、地域農業の後継者として育成に取り組んでいる。
- ・ 温湯種子消毒や有機性肥料による農薬の使用量を減らした環境にやさしい米づくりを推進し、高品質の特別栽培米の生産、直販を行っている。
- ・ 大阪府摂津市などの都市部のイベントに参加し、そば打ちの実演販売や特別栽培米の販売を行うなど交流の輪を広げている。また、近隣の小学生を対象にそばの栽培学習を行い、食育の推進に取り組んでいる。
- ・ 集落の景観・環境整備として集落ぐるみで農道修復、用・排水路の管理、神社や公共施設の清掃を行っている。また、獣害対策として電気柵や防護フェンスなどの集落域への設置を行っている。